

記入例：フランス方式による婚姻
(日本国籍どうし)

婚姻届

届出を出す時の住所を日本語で記入。すでに同居している場合は、同じ住所。パリ市の場合、パリ市第〇〇区と記入。パリ市以外は県名も記入。記号(=、・等)は書かない。

受理	令和	年	月	日
第				号

フランス方式で婚姻した場合、用紙右側の証人欄は記入不要。

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知
戸籍に記載されているとおりに記入。					年号で記入。	

(1)	氏名	夫になる人		妻になる人	
		トドケデ	タロウ	ガイム	ハナコ
(2)	住所	届出		外務	
		太郎	花子		
(3)	本籍	大阪府大阪市中央区大手前		東京都千代田区霞が関	
		4丁目1番	2丁目2番		
(4)	婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	届出 一郎		外務 太郎	
		和子	良子		
(5)	同居を始めたとき	令和7年1月		結婚式をあげたとき、または、同居を始め	
		たときのうち早いほうを書いてください			
(6)	初婚・再婚の別	初婚 再婚		初婚 再婚	
		死別 離別		死別 離別	
(7)	同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯の主な仕事と	夫		妻	
		1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯		2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
(8)	夫婦の職業	夫		妻	
		サービス職		事務職	
(9)	その他	令和7年1月11日		フランス国	
		婚姻証書添付。		市長	
届出人署名(※押印は任意)		届出 太郎		外務 花子	

06-1234-5678(夫) 07-8756-4321(妻)

日中ご連絡できる夫妻の番号を記入。